

2023年度 創邦21 事業報告

1 会議の開催

(イ) 総会の開催

2023年9月4日(月) 10時30分より 定時総会開催
於 今藤政太郎同人自宅稽古場

(ロ) 例会の開催

2023年 4月 24日 13時より	第212回例会	於 CAT 会議室
「 9月 4日 11時より	第213回例会	於今藤政太郎同人 自宅稽古場
「 10月 6日 10時30分より	第214回例会	於 CAT 会議室
「 12月 27日 10時30分より	第215回例会	於 CAT 会議室
2024年 2月 22日 10時30分より	第216回例会	於 CAT 会議室

2 公開講座の開催

第15回創作のキモ

主催：創邦21

日時：2023年7月5日(水)

18時30分開始(開場18時)

場所：原宿・アコスタディオ

シリーズ 古典名曲を深掘りする①

「吾妻八景」 四代目杵屋六三郎作詞作曲 文政12年(1829)

～邦楽新時代の幕開け

今藤長龍郎、松永忠一郎、金子泰

実演協力：今藤政之祐

第16回創作のキモ

主催：創邦21

日時：2024年1月9日(火)

18時30分開始(開場18時)

場所：原宿・アコスタディオ

シリーズ 名曲を聴く③

「紀文大尽」中内蝶二作詞

四世吉住小三郎(慈恭)・三世杵屋六四郎(二世稀音家浄観)作曲

明示44年

～邦楽の近代の在り処を探る
今藤政太郎、配川美加（日本音楽研究家）
実演協力：今藤政貴、今藤長龍郎

3 作品演奏会の開催準備

第20回作品演奏会

主催：創邦21

日時：2024年5月18日（土）

昼の部 13時30分開演／夜の部 18時30分開演

場所：紀尾井小ホール(東京都千代田区)

制作協力：(株)シーエイティプロデュース

曲目：

〈昼〉

今藤美治郎作曲「日本昔話より みやこ鏡」（金子泰脚色）

今藤政貴作詞作曲「塀の上」

米川敏子作曲「山脈（ヤマナミ）のかなたに」（瀧澤妙子作歌）

今藤政太郎原案作曲「富樫～「勸進帳」入り～」（金子泰作詞）

〈夜〉

福原徹作曲「二調一管 2024年版」

松永忠一郎曲付「髪梳夜撫子」

今藤長龍郎作曲「桜舞う（三味線・箏・小鼓による）」

清元栄吉作曲「河童」（北原白秋「第二白金之独楽」より）

4 創邦21 ホームページの運営とSNSによる発信

作品の音源公開、演奏動画公開

同人の執筆したエッセイ、レポート等の掲載

ブログの更新

「X」（旧ツイッター）の活用

【総括】

1 2023年9月4日に定時総会、また同年4月24日の第212回から翌2024年2月22日の第216回まで計5回の例会を行った。今期は作品演奏会の開催をしなかったため、例年よりも例会の回数が少なくなっている。

2 公開講座「創作のキモ」を2回開催した。

15回目となる7月5日の回では、古典名曲「吾妻八景」を取り上げ、初めて古典曲を「創作のキモ」の考察対象にした。創作者集団である創邦21ならではの視点を活かし、四代目杵屋六三郎の創作の手法とその背後にある創作意識を作曲面、詞章分析の面からあぶりだそうと努めた。実演協力として今藤政之祐氏に唄っていただいた。実演も多く入れ、説得力のある、ユニークな「吾妻八景」解説・分析の回となったのではないか。

第16回は2024年1月9日に行った。近現代の名曲の中から「紀文大尽」を取り上げた。長唄研精会の財産演目である「紀文大尽」を、研精会系ではない邦楽演奏家が公の場で取り上げてあれこれ考察すること自体が、ある意味画期的であったとも言えようか。日本音楽研究家の配川美加氏をお招きして、今藤政太郎同人と語り合う形式をとった。研究者の配川氏の実証的な視点が加わることにより、厚みのある回となった。また、当日は部分的な実演をしたうえで、当代吉住小三郎氏から拝借した慈恭・浄観両師の貴重な音源を聴いていただいた。作曲者であり大名人の両師の芸の素晴らしさもよくわかる資料音源であった。事前には小三郎氏と当代稀音家六四郎氏お二人に「紀文大尽」や研精会、慈恭・浄観両師について伺ったりもし、我々自身、知見を拡げることができた。このようにご協力いただいたことに改めて感謝申し上げたい。

以上の2回についてはそれぞれにレポートを書き、創邦21公式サイトのヨミモノページで公開している。

3 2024年5月18日に開催予定の第20回作品演奏会に向けて、準備を進めた。

4 創邦21ホームページを継続的に運営し、アーカイブとして、また「エッセイ」、「レポート」、ブログなど読む物の充実も目指した。「X」での情報発信も始めた。

以上